

# 緑のまきば

2021年 No.54

小金井緑町教会

小金井市緑町四・一六・三三

TEL 042・381・7961

牧師 山畑 謙

## 説教

2021年度の聖句

### 『鷲のように翼を張って』

山畑 謙

「主に望みをおく人は

新しい力を得

鷲のように翼を張って上る。」(イザヤ40章31節)

この聖句は、「バビロン捕囚」と

言って、国を滅ぼされ、バビロンに

強制連行され、全く望みを失って

るイスラエルの民に向かって語られ

た言葉です。私たちは今、それほど

の絶望状態にはないでしょう。その

ズレを越えて、この御言葉を聞かせ

てくれる言葉を紹介します。それは、

インドのカトリック修道士、霊的な

指導者、アントニー・デ・メロの黙

想のための言葉です。対話形式となっ

ています。

「悟りを開くとは、どういふことですか？」

「見る」とだ

「何をですか？」

「成功の空しさ、達成の虚ろなこと、

人間の努力など取るに足らぬことをだ」

と師は答えました。

弟子たちはびっくり仰天しました。

「でも、それじゃあ悲観主義で、絶望状

態じゃありませんか？」

「そんなことはない。底なしの溪谷の上

を音もなく飛んで行く鷲の刺激と自由

とがある」

(『東も西も無について』P160エンデルレ書店)

悟りを開く(救いに至る)には、

「見る」ことが大事。その見るべき

ことは3つあります。

①それは、「底なしの溪谷」と言

われる、空しさや虚ろや取るに足り

なことに、囚われる己の現実を「見

ること」です。どんなに成功しよう

とも、どんなに努力して念願を達成

しようとも、『虚無』が影のように

つきまとっている現実を「見る」こと」

です。それは確かに「悲観主義で絶

望状態」でしかなく見えるでしょう。

しかし、もう一歩先があるので。

②なので、師は断固として言うの

です。「そんなことはない！」と。

なお忍耐強く見続けていくならば、

その虚無の淵の只中に、十字架が立っ

ているのを、見出すでしょう。そこ

でその十字架が、誰の、何のための

十字架であるかをよく「見る」こと

です。

③最後は、復活の主、今生ける主

イエスが、赦しの御手を差し伸べて

くるのを「見る」ことです。よく「見

る」ならば、あなたも「底なしの溪谷の

上を音もなく飛んで行く鷲」となり、

「刺激と自由」とを味わい知るよう

になると、悲観ではなく楽観を、絶望

ではなく希望が示されています。

そこに立っている十字架が、この

自分のため、罪の囚われ(空しさ)

から解き放つための十字架であると

の発見、気づき。それを使徒パウロ

は「自分がキリストに捕らえられて

いる」(フィリピ3章12節)と表現

します。罪の囚われからの解放と、

キリストに捕らえられるのは、表裏

一体なのです。更には、それが過去

の事柄ではなく、今、生ける復活の

主イエスが、招きの御手をこの自分

に差し伸べているのを「見る」とな

ります。

それは礼拝において起こるのです。

私たちは、復活の主に、望みをおく

ことができます。囚われから解き放

たれ、底なしの谷から、大きく羽ば

たいて舞い上がることができるので

です。あなたは、もしかしたら、まだ

幼い鷲かもしれない。しかし、今日、

告げられます。十字架を仰ぎ、主の

赦しと愛を、しかと受け取って、祈

りをもって翼を広げてみよ、と。聖

霊の風を、その翼いっぱいを受けて、

飛び上がれ、高く高く舞い上がれ、

と。

「音もなく飛んで行く」というのは、

自分のがむしやらかな努力によるので

はなく、聖霊の風を受けて、そこに

身をゆだねる姿勢のことです。力ま

ず、ゆだねる大らかな生き方のこと

です。そんなふう自由に飛んで行

くあなたに、もしかしたら、気付い

て見上げる人がいるかもしれません。

「どうして、そんなふう生きられ

るの？」と尋ねてくるかもしれませ

んか。そんなふうにはありません。

よ、祈りの翼を大きく張って、聖霊

の風を受けて、鷲のように上ろう。